

目黒区いきもの住民台帳

身近に暮らすみどりのなかまたち

めぐるく
目黒区
の
りょうせい
両生類
はちゅう
爬虫類

List of amphibians and reptiles of Meguro City

監修：大淵 希郷 氏



地球のいのち、つないでいこう



ささえあう生命の輪 目黒区生物多様性

目黒区

上空から見て、樹幹や草地などみとりで覆われた面積が占める割合

まえがき



窓辺にヤモリがひょっこり現れたり、夜になるとカエルの鳴き声が聞こえてくることがあります。少し周りに目を向けてみると、両生類や爬虫類は意外と身近にいるかもしれません。

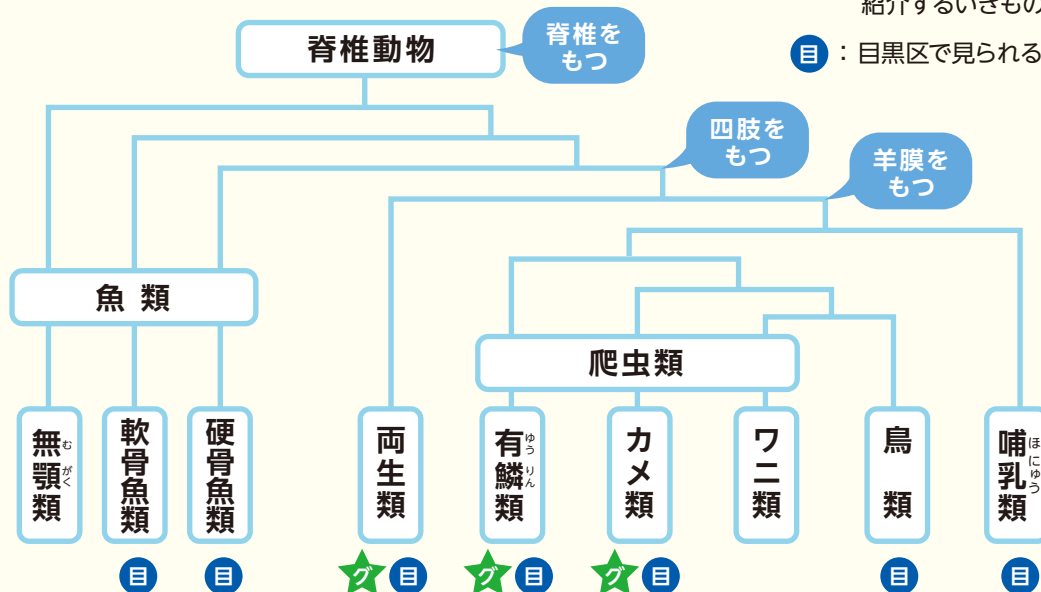
この冊子では、主に目黒区で見られる両生類と爬虫類に焦点を当て、特徴や生態を学べるものになっています。また、目黒区に住んでいるみなさんから、区内にいるいきもの観察記録を集めた「めぐろいきもの气象台」のデータを用いて、これまでに目黒区で確認された種のリストも掲載しています。



脊椎動物の分類

★：このグリーンデータブックで紹介するいきもの

目：目黒区で見られる種類



めぐろ区報でも特集しました！

令和5年(2023年)No.2164 7/15号



いつもの暮らしの身近にある



両生類の特徴

P4



爬虫類の特徴

P5



両生類・爬虫類の生態

P6



目黒区で見られる
両生類と爬虫類

P8



目黒区での取り組み紹介

P10

いきものを探してみよう!

P11

両生類・爬虫類について学ぼう！



目黒区立小学校の
子どもたちによる自由研究

P12

気をつけたい外来種

P14

クイズ・豆知識

P15



生物多様性とは
なんでしょう？

P16



専門家コラム

P17

目黒区で確認されている
両生類・爬虫類リスト

P18

両生類の特徴

両生類はどんな生きものでしょうか。両生類の主な特徴を見てみましょう。同じ両生類のなかまでも、種類によって姿や特徴が違います。どんなところが違うか、見比べてみましょう。

日本で主に見られる両生類はカエル、イモリ、サンショウウオです。

両生類の主な特徴

見た目

幼生(子ども)と成体(大人)で見た目や体の機能が変わります。これを変態といいます。

生活場所

幼生 水中
成体 水中と陸上

呼吸方法

幼生 えら呼吸、皮膚呼吸、肺呼吸※
※ヒキガエル類以外のカエルの幼生は肺呼吸も既に行っています。
成体 肺呼吸、皮膚呼吸、えら呼吸※
※成体になっても、えら呼吸をしている両生類もいます

皮膚

体の表面を粘膜で保護されていますが、乾燥に弱いです。

カエルのなかま



【尾】

幼生には尾があります。

【耳】

鼓膜がむき出しになっています。

成体

【目】

エサを飲み込む時に、目を口の内側に引っ込めて、目でのどに押し込みます。(P.6参照)

【あし】

多くのカエルのなかまは、前あしの指が4本で、後ろあしの指が5本です。また、よく木に登る種は、指先に吸盤がついています。

【尾】

成体では尾がないので、無尾目と呼ばれます。

イモリ・サンショウウオのなかま



【外鰓】

体の外側にえらが出ている。

成体

【尾】

成体になっても尾があるので、有尾目と呼ばれます。

【耳腺】

イモリは眼の後ろに耳腺という場所があり、外敵から身を守るための、毒がでます。

【あし】

多くのイモリのなかまは、前あしの指が4本で、後ろあしの指が5本です。

ミニコラム

日本では、アカハライモリの再生能力について、研究が進められており、四肢・尾以外にも体の一部が再生するようです。

※イラストはイモリのなかまです。

コラム

イモリとヤモリ

とても名前が似ているイモリとヤモリ。名前は似ていますが、実は違う種類です。

イモリは両生類で、井戸や田んぼで、昆虫などを食べて、井戸を守ってくれていたのが、井守と名前がついたそうです。一方、**ヤモリ**は爬虫類で、人家ほかで、昆虫などを食べて家を守ってくれることから、家を守るという意味の「家守」や「守宮」という名前がついたと言われています。

見た目や名前が似ているので、少し混乱してしまいますね。

指の数を数えると見分けやすいです！



爬虫類の特徴

爬虫類はどんな生きものでしょうか。爬虫類の主な特徴を見てみましょう。同じ爬虫類のなかまでも、種類によって姿や特徴が違います。どんなところが違うか、見比べてみましょう。

日本で主に見られる爬虫類は、ヘビ、トカゲ、ヤモリ、カメです。

爬虫類の主な特徴

見た目

両生類のように変態はしませんが、成長とともに模様や体色が変わるものもいます。

生活場所

陸

※種類によっては、水辺を好むものもいます。また、ウミガメやウミヘビは海で生活しています。

呼吸方法

肺呼吸

※カメは水中で腸や喉の粘膜でも呼吸ができます。

皮膚

厚くて丈夫な鱗で覆われています。乾燥にも強いです。

ヘビのなかま

【目】

透明な鱗に覆われています。まぶたが無いため、まばたきできません。

【耳】

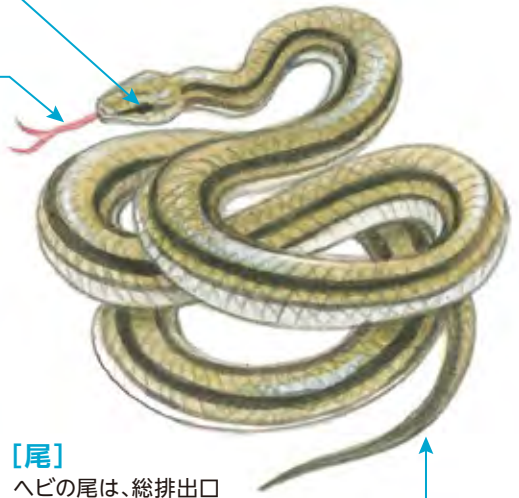
耳の穴はありませんが、内耳があり音を感じ取ることができます。

【口、舌】

口の中には、鼻とは別にヤコブソン器官（ヤコブソン器官ともいいます。）というにおいを感じ取る場所があります。ヘビは舌の先に、空気中のにおい物質をつけて、その器官に運ぶことで、においを感じています。

【あし】

多くのヘビのなかまは、前あし、後ろあしのどちらも退化しています。（後ろあしが痕跡程度に残っている種類もあります。）



【尾】

ヘビの尾は、総排出口（ふんや尿、卵を産む穴）より先の部分を指します。

トカゲのなかま

【耳】

ヘビと違って、耳の穴が開いている種類がほとんどです。

【口、舌】

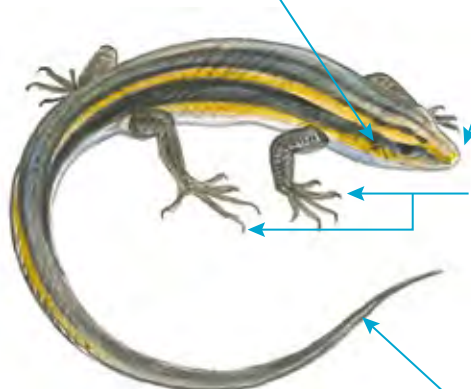
ヘビと同様に、鼻とは別にヤコブソン器官でも、においを感じています。

【あし】

基本的には、前あし、後ろあしの指は5本です。しかし、世界にはヘビのように足の無いトカゲのなかまもあります。

【尾】

種類によっては、敵におそわれた時に、自分で尾を切ります。これを自切といいます。



ミニコラム

トカゲのなかまは爬虫類で種類が一番多く、カナヘビやヤモリ、イグアナ、カメレオンなどもトカゲのなかまです。

カメのなかま

【耳】

トカゲと違って、鼓膜はむき出しです。

【口】

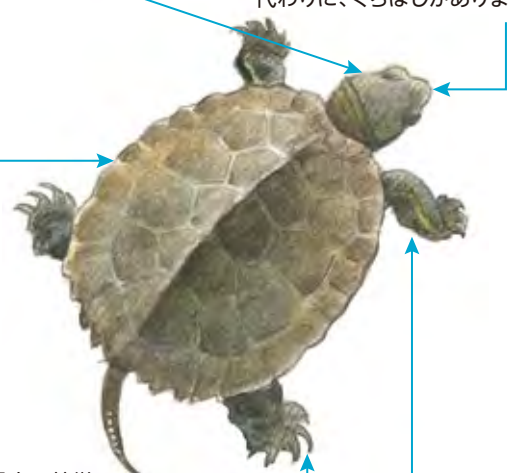
トカゲやヘビには歯がありますが、カメには歯がありません。その代わりに、くちばしがあります。

【甲】

カメの最大の特徴ともいえる甲羅です。背中側を背甲（はいこう）、お腹側を腹甲（ふっこう）といいます。

【あし】

カメのあしは、暮らす場所や生活によって、形が変わります。歩きやすいように爪が発達したり、泳ぎやすいように水かきがあったり、オール状になっているものもあります。



両生類・爬虫類の生態 I

両生類と爬虫類では、産卵方法や卵の様子がちがいます。

産卵方法を比べてみよう

両生類の特徴

- 主に水中で産卵します。
- 同じ両生類でも産卵方法はさまざまです。

海外には卵ではなく、直接子どもを出産する種類もあります。



アズマヒキガエル

繁殖期を迎えたアズマヒキガエルは産卵場所の池などに集まります。オスはメスの背中に抱きついて、産卵された卵に精子をかけます。



アカハライモリ

メスは、オスから精子の入った「精包」という袋を受け取り、体内で受精させます。その後、後あしを上手に使って、落ち葉や水草に1粒ずつ卵を産みます。

爬虫類の特徴

- 主に陸上(土や落ち葉の中)で産卵します。

ニホンマムシなど、卵ではなく、直接子どもを出産する種類もあります。



ニホンカナヘビ

体の大きさに対して、大きな卵を落ち葉の中や土の中などに産みます。1回の産卵数は2～6個で、1年に1～6回産卵します。



クサガメ

水辺に穴を掘り、頭を甲羅の中に引っ込めて力をいれることで、大きな卵を産む。1回の産卵数は3～14個で、1年に1～3回産卵します。

水中以外にも…

水中以外に産卵する場合、卵を乾燥などから守るために、泡巣と呼ばれる白い泡状の巣をつくり、その中に卵を産みます。

地面に掘った穴の中



シュレーゲルアオガエル

水面にせり出した木の枝の上



モリアオガエル

オスか？ メスか？

大部分のカメやワニの他、爬虫類の中には、産卵した時には、まだオスになるかメスになるかは決まっていません。孵化するまでの温度によって、性別が決まります。

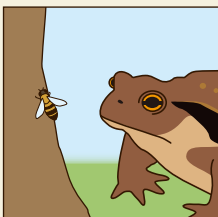


ニホンヤモリも産卵場所の温度環境によって性別が変わります。

エサの捕り方 カエル編

カエルのなかまは主に昆虫などを食べます。カエルのなかまは舌を伸ばして虫を捕まえます。どのような仕組みになっているか見てみましょう。

アズマヒキガエル



エサとなるいきものを見つけると、ねらいを定めます。



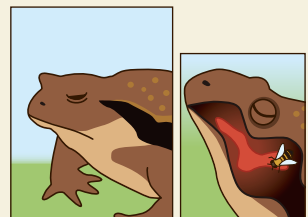
口の中で折りたたまれていた舌を勢よく伸ばします。



舌の裏側はねばねばしていて、それでエサを捕まえます。



舌全体が口のなかに引っ込みます。



最後に、目を体の内側に入れて、その圧力でエサを押し込みます。

両生類・爬虫類の生態 II

卵の形状や構造を比べてみよう

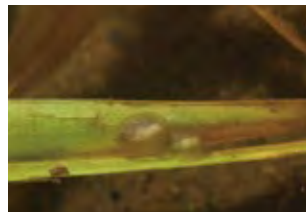
両生類の特徴

- 殻がなく、ゼリー状の物質に包まれています。
- 乾燥に弱く、ほとんどの種が水中に産みます。



アズマヒキガエル

長いひも状の卵塊には、1,500～14,000個の卵が入っています。



アカハライモリ

約2mmの小さな卵です。

爬虫類の特徴

- 殻があり、卵の中は尿のうやしょう膜など、複雑な構造になっています。
- 両生類よりは、比較的乾燥に強く、陸に産みます。



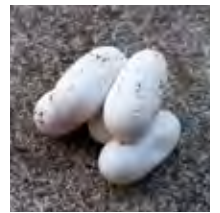
ニホンカナヘビ

小さくて丸い卵です。卵はやわらかいです。



ニホンヤモリ

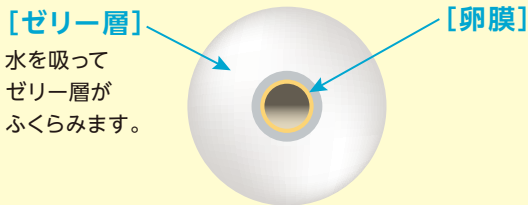
2個の卵が寄り添うように並びます。卵はかたいです。



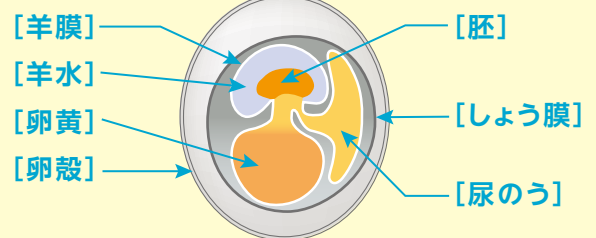
シマヘビ

細長い楕円形の卵です。卵はやわらかいです。

両生類の卵の構造



爬虫類の卵の構造



エサの食べ方

ヘビ編

ヘビのなかまは小型の哺乳類(小鳥やネズミなど)やその卵、カエルなどを口を大きく開けて丸のみします。どのような仕組みになっているか見てみましょう。

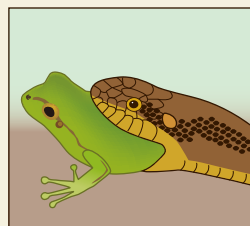


●上あごには歯が左右2列ずつあり、下あごと連動して左右別々に動かします。

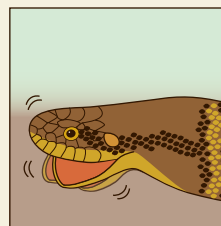
●あごの関節が2つあるため、大きく口を開けることができます。

●歯が口の奥に向かって生えているため、捕まえたエサが逃げにくい構造になっています。

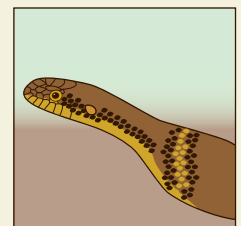
●下あごの骨は、左右で分かれていて、じん帯でつながっています。そのため左右に大きく広がります。また、左右別々に下あごを動かします。



左右2つずつあるあご関節を使って、大きく口を開きます。下あごもじん帯を伸ばし、左右に大きく開くことができます。



下あごを左右別々に動かしながら吞み込んでゆきます。このとき上あごの歯も連動してそれを助けます。



最後に、胴体の筋肉を上手く使って、胃にエサを送ります。

目黒区で見られる両生類と爬虫類

目黒区内で見られる両生類と爬虫類を一部紹介します。

みんなで選んだ
めぐろのいきもの80選
とは…(P15参照)



ニホンアマガエル

(無尾目 アマガエル科)

学名: *Dryophytes japonicus*

毒があるので、
触ったら必ず
手を洗いましょう。



※色素の突然変異で、青色の珍しいアマガエルもいます。

大きさ 22～45mm

第5位

みんなで選んだ
めぐろのいきもの80種

ニホンアマガエルは、田んぼなどの水辺でよく見られますが、林や森の木の上などにも見られます。足の指に吸盤があって、木登りが得意です。窓ガラスのようなツルツルとした場所でも登れます。また、周囲の色に合わせて体色を変化させることができます。

飼育個体が
逃げた

アカハライモリ

(有尾目 イモリ科)

学名: *Cynops pyrrhogaster*

毒があるので、
触ったら必ず
手を洗いましょう。



大きさ 70～130mm

名前のとおり、お腹は赤色で黒の斑点模様があります。これは、毒をもっているという警戒色だと考えられていて、アカハライモリはフグと同じ毒を持っています。目黒区に、確認報告が寄せられたこともあります。飼育していた個体が逃げたものです。いきものを飼育する場合は、責任をもって最期まで飼育するようにしましょう。

アズマヒキガエル

(無尾目 ヒキガエル科)

学名: *Bufo japonicus formosus*

毒があるので、
触ったら必ず
手を洗いましょう。



大きさ 40～165mm

第3位

みんなで選んだ
めぐろのいきもの80種

目黒区内でも良く見られますが、近年、その数が減ってきています。毎年、同じ水辺で繁殖することが多いです。東京にいるアズマヒキガエルは、国内外来種*で本来は西日本に生息するニホンヒキガエルと一部、交雑しているようです。

※国内の生息地から、同じ国内の生息していなかった地域に持ち込まれた外来種。

ニホンヤモリ

(有鱗目 ヤモリ科)

学名: *Gekko japonicus*



大きさ 100～140mm

第1位

みんなで選んだ
めぐろのいきもの80種

夜行性で、主に民家やその周辺でよく見られます。指先に非常に細い毛が生えており、垂直の木や家の天井、壁に張り付くことができます。卵生で5月から8月にかけて木や壁に卵を産みます。また、ヤモリは縁起が良い生きものだともいわれています。目黒区では、全域に生息しており、区役所でも見られます。

目黒区で見られる両生類と爬虫類

ヒガシニホントカゲ (有鱗目トカゲ科) 学名: *Plestiodon finitimus*

幼体(オス)



成体



大きさ 200～250mm

第12位

みんなで選んだ
めぐるのいきもの80種

目黒区内でもニホンカナヘビとともに、庭や公園の草むらなどにすんでいて、幼体と成体では、体色が異なります。また、敵におそわれると尾を切って逃げる時があります。尾は新たに生えてきますが、再生した尾は、元の骨(硬骨)とは違って、軟骨になります。
なお、西日本にはニホントカゲがいます。

アオダイショウ (有鱗目ナミヘビ科) 学名: *Elaphe climacophora*

成体



大きさ 110～200cm

全長110～200cmと、日本のヘビのなかまの中でも大きい部類です。森林や民家の近くなど広範囲に生息していて、目黒区内だと大きな緑地等で見られます。木登りが得意で、毒はありません。

なお、幼体(幼蛇)はニホンマムシという毒ヘビに似せた体の模様をしています。

幼体



ニホンマムシ

第21位

みんなで選んだ
めぐるのいきもの80種

ニホンカナヘビ (有鱗目カナヘビ科) 学名: *Takydromus tachydromoides*

幼体



成体



大きさ 160～270mm

第41位

みんなで選んだ
めぐるのいきもの80種

目黒区内では、草むらのある公園などで見られます。ヒガシニホントカゲとの見た目の違いは、鱗は光沢がなくザラザラしており、ヒガシニホントカゲよりも尻尾が長いので、見分けることができます。

クサガメ (カメ目イシガメ科) 学名: *Mauremys reevesii*

幼体



成体



大きさ オス:180mm
メス:250mm

第35位

みんなで選んだ
めぐるのいきもの80種

甲羅にはキールと呼ばれる筋状の隆起が、縦に3本走っているのが特徴です。産卵回数は1～3回で、1回につき4～11個の卵を産みます。子ガメは翌年の春にふ化します。目黒区内では、碑文谷公園や駒場野公園などの池で見られます。

研究によると、江戸時代に中国大陸から移入されたと言われ、生物学的には外来種です。

※外来生物法での外来生物は、「明治時代以降に日本に導入された生物種」のことをいいます。

目黒区での取り組み紹介

目黒区内の公園では、両生類・爬虫類をはじめとしたさまざまな生きものを守るための活動をしています。今回は、駒場野公園での活動を紹介します。

駒場野公園

駒場野公園には自然観察舎があり、ボランティアの方々との協働で公園内の自然環境を維持する活動を行っています。
今回は、自然観察舎の岡本さんにお話を聞きました！



おかもと あきひさ
岡本 明久さん

どんな活動をしていますか。

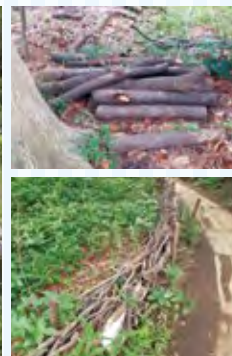
ボランティアの方々と一緒に、園内で生じる剪定枝を利用したエコスタック「そだ柵」を作って、人もいきものたちも利用しやすい公園づくりを行っています。

また、園内にいる動植物の調査や観察会なども行っています。

※エコスタックとは、いきものが暮らすために、人の手で作られた棲み処をいいます。



公園内にあるケルネル田んぼ



園内の至る所にエコスタックが設置されています。

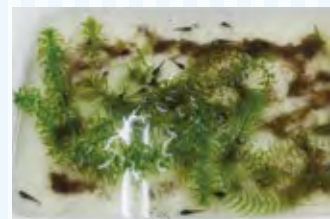
園内ではどんな生きものが見られますか。

園内には、両生類ですとアズマヒキガエル、ニホンアマガエル、爬虫類ですとアオダイショウやシマヘビ、クサガメなどが見られます。

また、設置した「そだ柵」では、爬虫類のヒガシニホントカゲやニホンカナヘビ、ニホンヤモリなどがすき間に入り込んで暮らしています。

今後はどんな活動を予定していますか。

ボランティアの方々や里山的な環境管理を行いながら、人もいきものたちも暮らしやすい都心の貴重な緑地として残していけるような活動を続けていきたいです。



駒場野公園では、カエルの数が年々減ってきているそう。卵やオタマジャクシを保護して大きく育ててから野外へ放す活動や、園内で見かけたら情報提供してもらうなど、希少動物の保護活動も実施しています。



いきもの住民会議を開催しました

令和5年9月9日に駒場野公園で、両生類・爬虫類の学習会を実施いたしました。当日は、屋内で実物のヘビやヘビの抜け殻、カメの骨格標本などを見ながら、両生類・爬虫類について学びました。そのあとは、あいにくの曇り空でしたが、公園内でフィールドワークを実施し、ニホンヤモリやコクワガタを発見し、観察を行いました。



ニホンヤモリを発見！

目黒区では、毎年テーマを決めて学習会や観察会を実施しています。目黒区の自然通信員という制度に登録すると、このような観察会の案内が届きます！ぜひご登録ください。詳しくは裏表紙へ！

いきものを探してみよう！

両生類・爬虫類は、どのような場所に生息しているでしょうか。安全に観察するために、しっかりと準備してから、いきものを探してみよう！

服装

帽子

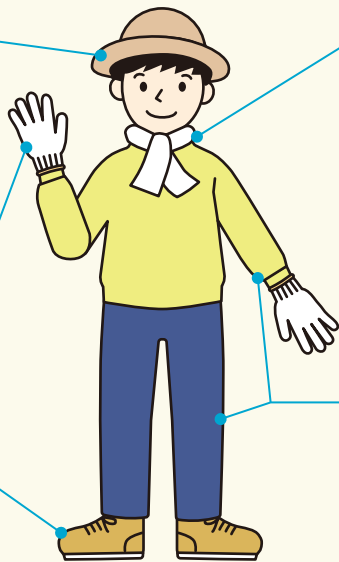
熱中症対策になります。また、上からの落下物が直接頭に当たるのを防ぎます。

軍手

いきものを捕まえたり、植物をかき分けたりする時に大切です！

靴

動きやすいもの、履きなれているものを選びましょう。



タオル

首にタオルを巻いておくと、直射日光から身を守ることができます。濡れたタオルを使うと、熱中症対策にもなります。

長袖・長スボン

草地や林の中には、いろいろないきものがいます。肌になるべく出ないようにしましょう。

持ち物

- ☐ 網
- ☐ プラケース
- ☐ 飲み物
- ☐ 図鑑
- ☐ 軍手
- ☐ タオル
- ☐ カメラ
- ☐ 虫よけスプレー
- ☐ 消毒液
- ☐ 絆創膏
- ☐ ウェットティッシュ



観察時の 注意点

- 立ち入り禁止になっている場所に入らない！（フェンスや塀で囲われている場所や私有地も無断で入らないようにしましょう。）
- 捕まえたいきものは、観察が終わったら、捕まえた場所に戻しましょう。
- 観察のために飼育する場合は、必ず最後まで飼育するようにしましょう。
- いきものに触ったあとは必ず手を洗いましょう。
- 虫よけスプレーを使う場合は、草地に入る前に使いましょう。



こんなところを探してみよう！いきものの居場所

カエル

種類によって異なりますが、産卵期は水辺にすることが多いです。また、アマガエルなどは湿った場所や畑でも見つかります。



体が乾燥に弱いので、水辺の近くでよく見つかります。

トカゲ

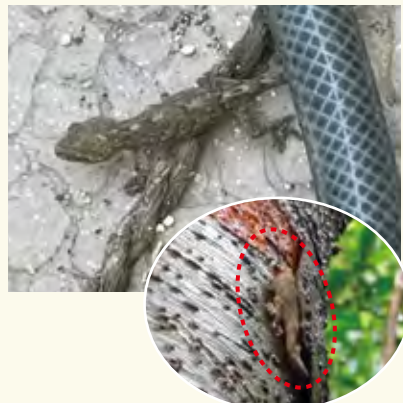
晴れの日の石垣やコンクリートの上など。隠れる場所が近くにあれば、会える確率UP！



体を温めるためひなたぼっこ。

ヤモリ

家の窓や壁に張り付いていることがあります。



目黒区立小学校の子どもたちによる自由研究

令和4年度の目黒区立小学校の子どもたちが夏休みに作成した優秀な作品を展示・表彰する「小・中学校夏休み優秀作品展」で優秀作品にノミネートされた子どもたちの研究内容をご紹介します。

研究タイトル

カナヘビ



やま さき そう すけ
山崎 想介さん

Q:どんな内容ですか？

カナヘビの食べ物や1日の過ごし方、見た目などを観察しながら、エサの量などの記録をつけました。今も生きていて、飼育を続けています。

Q:研究しようと思ったきっかけはなんですか？

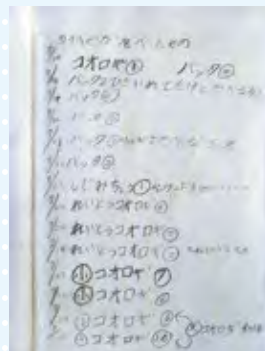
きっかけは、神戸のおばあちゃんの家でトカゲを捕まえたなら、卵を産んだので調べてみました。調べてみたら、トカゲじゃなくてニホンカナヘビでした。

Q:研究してみて感じたことはなんですか？

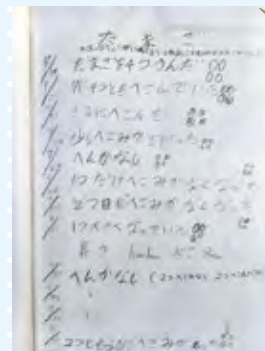
自分くらいの大きさの虫を丸呑みしてしまうことが、びっくりしました。また、卵を産んだけど、孵化させるのが難しかったです。



何をどれくらい食べたか、しっかり記録をつけています。ペットショップで購入したコオロギがお気に入り。



2回に分けて、合計8つの卵を産んだそうです。しっかり観察して、変化を記録しています。残念ながら孵化はしなかったそうです。



今回、このグリーンデータブックを監修している大淵希郷先生に、みんなの自由研究を見ていただきました！



どうぶつ科学コミュニケーター
おおぶち まさと
大淵 希郷

1982年、兵庫県神戸市生まれ。
上野動物園・飼育展示スタッフ、日本科学未来館・科学コミュニケーター、京都大学野生動物研究センター・特定助教(日本モンキーセンター・学芸員 兼任)を経て、独立。おもに生物にまつわる科学分野と市民とをつなぐ「どうぶつ科学コミュニケーター」として活動中。夢は、今までにない科学的な動物園を造ること。特技はトカゲ釣り。

まず、山崎さんは「これは何というトカゲだろう?」と不思議に思い、調べたのだと思います。でも本に書いてあることをただ写すのではなく、捕まえたカナヘビの姿や行動を観察して、本に書いてる特徴とちゃんと合っているか確認しているのはすごい!本に書いてることを鵜呑みにするのではなく、確かめるのはとても大事だと思います。

平さんは、外来種の野外調査をしているわけですが、これはとても大変な作業です。天候にも左右されるし、そもそも見つかるかもわからない。そんな中、文献ふくめ下調べをしっかりして出かけていったのは高評価です。

吉田さんは、リクガメにさまざまなエサを与えてみるなど飼育方法の研究をされるだけでなく、近い種類のことも調べるなど発展的なリサーチがよかったです。

思い起こせば、私も近所で捕まえたヤモリの研究を中学生のときにしましたが、同じように爬虫類に興味を持ってくれる若者たちがたくさんいてうれしいです!



中学3年生だった大淵の夏休み自由研究

目黒区立小学校の子どもたちによる自由研究

研究タイトル

オキナワキノボリトカゲ



たいら あつと
平 篤人さん

Q:どんな内容ですか？

国内外来種*として静岡で繁殖しているオキナワキノボリトカゲを実際に捕獲して、特徴や見た目を観察しました。また、その調査した日の気温や様子を記録しています。

※国内外来種:同じ国内だが、もともとその地域に生息していなかったいきもの。

Q:研究しようと思ったきっかけはなんですか？

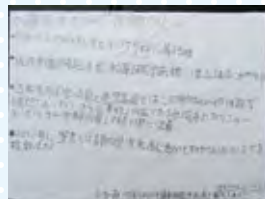
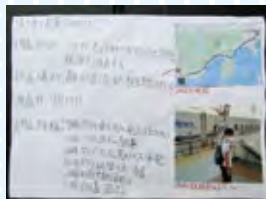
普段から、よく爬虫類の動画などを見ているのですが、たまたまオキナワキノボリトカゲについての動画が流れて、自分でも捕まえてみたいと思ったからです。

Q:研究してみて感じたことはなんですか？

本来の生息地である沖縄県と比べて環境が全然違うのに、静岡県でも繁殖している適応力がすごいなと思いました。



しっかり準備をして、静岡県に出発！
捕まえられることも考えて、2日間の調査を予定していたのですが、なんと1日目で捕まえられたそうです。



動画を投稿していた静岡大学の加藤英明先生の論文も読み、まとめてくれています。

研究タイトル

リクガメの研究



よしだ そうた
吉田 蒼太さん

Q:どんな内容ですか？

リクガメの特徴や種類を調べて、紙にまとめました。また、リクガメを観察しながら、紙粘土でリクガメを工作しました。

Q:研究しようと思ったきっかけはなんですか？

私やお母さんがカメが好きで、ヨツユビリクガメを飼い始めました。そして、リクガメのことをもっと知りたくて研究をしました。

Q:研究してみて感じたことはなんですか？

同じリクガメの仲間でも、大きさや形も違うし、いっぱい種類がいて、それぞれに個性があると感じました。紙粘土の工作は、甲羅の部分が難しかったです。



カメ吉さんの好きな食べ物を調べながら、同じ食材で人間用の料理も作って食べたそうです。



こちらは、実物のカメ吉さん！
…ではなく、粘土でつくった置物です。まるで本物のような見た目でした。

取材にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました！

気をつけたい外来種

アカミミガメ・アメリカザリガニについて

アカミミガメとアメリカザリガニは、2023年6月1日より「**条件付特定外来生物**」に指定されました。「条件付特定外来生物」は、外来生物法に基づき特定外来生物に指定された生物のうち、**通常の特定外来生物の規制の一部を、当分の間、適用除外とする**（規制の一部がかからない）生物の通称です。



アカミミガメ
(ヌマガメ科)

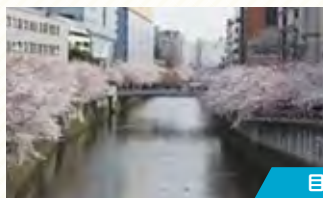
子ガメのうちは「ミドリガメ」と呼ばれ、ペットとしても親しまれています。在来種のカメよりも繁殖力が高く、生態系に影響を及ぼしています。



アメリカザリガニ
(アメリカザリガニ科)

赤色・赤褐色の体で大きなハサミを持ちます。水草や水生生物など、なんでも食べてしまうので、アメリカザリガニが増えた池は環境が変わってしまいます。

目黒区内では、こんな場所で見つかっています。



目黒川



駒場野公園



碑文谷公園

規制のポイント

ポイント 1

規制開始後も、一般家庭でペットとして飼育しているアカミミガメ・アメリカザリガニは、これまで通り飼うことができます。寿命を迎えるまで、大切に飼育しましょう。



ポイント 2

アカミミガメ・アメリカザリガニを池や川などの野外に放したり、逃がしたりすることは法律で禁止されます。

※適切な飼育を行わずにカメやザリガニが自力で逃げ出した場合も違法となることがあります。

ポイント 3

飼い続けることができなくなった場合は、友人・知人・個体の新しい飼い主探しをしている団体等へ無償で譲渡してください。ただし、不特定または特定多数の者に配り分けるような行為は規制されています。



OK



捕獲

飼育

無償譲渡

NG



放出

販売

頒布※

購入

※頒布とは、有償・無償を問わず、不特定多数または特定多数の者に配り分けるような行為を想定しています。

これから飼育を検討している方へ

アカミミガメやアメリカザリガニは、飼育をはじめたら、野外に放すことは法律で禁止されています。野外で捕まえたものを安易に持ち帰らないようにしましょう。

環境省では、規制の内容やアメリカザリガニ・アカミミガメの飼養等に関する問合せを受け付けています。

環境省 アメリカザリガニ・アカミミガメ相談ダイヤル

【ナビダイヤル】0570-013-110

【IP電話等の場合】06-7739-7899

受付時間：AM9:00～PM5:00（12/29～1/3は除く）

クイズ・豆知識

両生類、爬虫類について、クイズに挑戦してみましょう！

Q.1

トカゲは自分の身に危険を感じると、ある行動をします。それは一体なんでしょう？



A.1

トカゲやカナヘビ、ヤモリのなかまは敵から身を守るために自分のしっぽを切り離すことがあります。これを自切といいます。しっぽを切り離すことで、敵がそちらに気を取られたり、それを食べている間に逃げる事ができるのです。

なお、切り離されたしっぽは、少しのあいだ動くため、さらに敵の注意をひきます。



ヒガシニホントカゲのしっぽ

Q.2

カエルなどの両生類は人間と比べて、ある変わった方法で水分をとります。カエルの水分のとり方は次のうちどれでしょう？

- ① からだの表面から吸収する
- ② 他のいきものに分けてもらう
- ③ やっぱり人間と同じ、口から飲む

A.2

答えは「①」です。カエルの皮膚はとてもうすく、体の中へ水分が入っていくようにできています。人間のように、水を口からごくごく飲まなくても、からだを水につけているだけで、必要な水分を全身から体の中に吸収することができるのです。

水分を吸収しやすい、ということは、水の中の化学物質も吸収しやすい、ということになります。水辺をきれいにすることは、カエルなどのいきものを守ることにつながります。



Q.3

目黒区が発行している『みんなで選んだめぐろのいきもの80選』は、目黒区のいきものを自由に区民のみなさまに投票していただき、上位80種を掲載している冊子です。

その中で、

第1位はニホンヤモリ

第3位はアズマヒキガエル

第5位はニホンアマガエル

でした。では、第2位はなんでしょう？

- ① ソメイヨシノ (サクラ)
- ② メダカ
- ③ スズメ

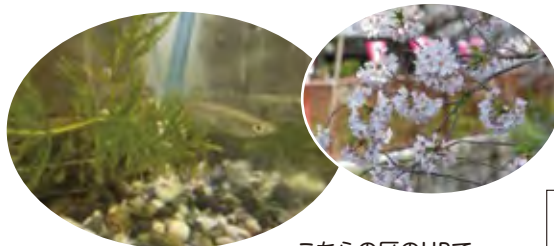


A.3

答えは「②メダカ」です。

2012年、目黒区制施行80周年記念事業として、「ふるさと目黒」の自然を見つめ直し、潤いのあるみどりの街をこどもたちの未来に伝えていくために、「みんなで選ぶめぐろのいきもの80種」が実施されました。

ちなみに、ソメイヨシノ (サクラ) は4位、スズメは6位でした。



こちらの区のHPで、80位までのいきものを確認することができます。



生物多様性とはなんでしょう？

生物多様性とは、いきものたちの豊かな個性が間接的につながり、支えあっていることをいいます。私たちの暮らしは、生物多様性がもたらす多くの生態系サービスによって支えられています。

目黒区の多様な環境

目黒区内にも多様な環境があり、あらゆるいきものが関わっています。目黒区では、いきもののすむ特徴的な8つの環境を「めぐろの風景」としています。



庭のある風景



小さな水辺の風景



屋敷林や鎮守の森、
学校の森の風景



草はらの風景



雑木林や畑・水田の風景



都市の森の風景



広がりのある水辺の風景



新しいみどりの風景

目黒区生物多様性地域戦略 「ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画」

目黒区では、区内の生物多様性を守っていくために、生物多様性地域戦略を作っています。その中には、大きな目標が3つあります。

目標
1

みどりの風景をまもり、いきものにやさしさのある環境をつくります。

取り組み
1

区民参加型のいきものの調査、
雑木林の手入れ

目標
2

自然とのふれあいを大切にした、
めぐろの暮らしを未来に伝えます。

取り組み
2

グリークラブなどのボランティア活動、
外来生物の普及啓発

目標
3

すべての主体があらゆる活動で
「ささえあう生命の輪」の確保を
目指した協力と連携を行います。

取り組み
3

いきもの発見隊の開催、学校等との連携事業



コラム

エコロジカルネットワーク

いきものが棲む様々な環境がつながっていることをエコロジカルネットワークといいます。

都市部のいきものたちは、みどりがつながっている場所をたどっていくことで、街の中を移動しています。

このいきものが棲んでいる環境をつなげることが生物多様性を守っていくために大切なことになります。



身近な種もいれば絶滅危惧種もいる、それが両生爬虫類。

大淵 希郷(どうぶつ科学コミュニケーター)

脊椎動物では、魚類、爬虫類、鳥類、両生類、哺乳類の順に種数が多く、なんと両生類はおよそ8,700種、爬虫類に至ってはおよそ12,000種もいる事が確認されています(2024年3月4日時点)。さらに両生爬虫類は毎年のように新種が見つかっていて、今後も種数が増える可能性が高いです。そんな両生爬虫類の中には、都市部はじめ身近に観察される種も多いです。

神戸市の街中で育った私もヤモリやトカゲを追いかける少年時代を送っていました。都会っ子としては珍しいタイプで、同級生たちが皆で野球をしたりテレビゲームをしたりしてる中、基本的に一人で生き物探しをしていました。でも寂しくはなかったです。そんなことより、彼らの持つふしぎに魅了されていました。ときおり、アオダイショウが見つかるめっちゃくちゃ興奮して寝れなかったのを覚えています。民家や学校の石垣で探すのですが、田園など一切ない住宅街のど真ん中ですから、こんなところにトカゲがたくさんいるなんて、ましてやヘビがいるなんて誰も知らないし、言っても信じてくれないわけです。でも、自分だけが知っている秘密があるってなんだか

わくわくするじゃないですか。だから本当に楽しい日々でした。その後、京都で大学院生になってトカゲの研究をはじめて、子どものころトカゲを捕まえた場所に行ったのですが、石垣ごとなくなっていたときはさみしかったですね。

冒頭から両生爬虫類は種数も多く、身近にいるよというお話をしていきました。それは確かにそうなのですが、一方で、IUCN(国際自然保護連合)が調べた両生類のうち41%が、爬虫類は21%が絶滅の危機にあります。特に両生類は生活史の中で淡水の水場と陸地との両方が必要ですから、多くの種が環境変化に特に弱いと考えられます。日本で身近に見られる両生爬虫類でも、このまま何もしなければ数年後にはどうなるかわかりません。それでは困るので、身近にどんな両生爬虫類がいて、どんな環境に棲んでいるのかを調べて後世に引き継ぐことで、かけがえない自然と生き物を守る知恵を培っていききたいものです。両生爬虫類ふくめ多くの生きものがいて生物多様性が高まることで、地球の生態系が維持され、わたしたち人間も生きてゆくことができるのですから。



新婚旅行でコモド島へ。
世界最大のトカゲ、コモドオオトカゲも絶滅危惧種だ。
(C)大淵希郷



二ホントカゲをトカゲ釣りで採集したところ。
住宅街にて。(C)大淵希郷

目黒区で確認されている両生類・爬虫類リスト

(1) このリストについて

- 目黒区が保有するいきものの情報※1をもとに、両生類と爬虫類を抜粋して作成した。
※1:目黒区都市整備部みどり土木政策課が保有する自然環境等に関する記録をデータベース化し、2009年にホームページなどで公開した「目黒区いきもの住民台帳暫定版」を基本とし、2023年までの記録を加えて更新したもの。種の同定資料がないために従前のリストから削除した記録もある。
- 科の分類および科と科内の配列、学名は基本的に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(2023年12月5日更新)に従い、掲載されていない種の学名は出典を示した。
- 保護上重要な種は、和名の後にランクを略称で記載した。略称とカテゴリー名と基本概念については表1に示した。
- 生態系被害防止外来種リストに記載されている種については、和名の後に以下の区分で記載した。
 - ・特定外来生物「※特外」
 - ・条件付特定外来生物(詳細はP.14参照)については、「※特外(条件付)」とした。
 - ・重点対策外来種「※外重点」
 - ・緊急対策外来種「※外緊急」
 - ・その他の定着予防外来種「※外その他」

(2) このリストの見方

- ① 通し番号
- ② 保護上重要な種には和名のあとにランクを記載した。
- ③ 年代別に目黒区内で確認された記録を「○」で表記した。
- ④ 1920年以降の初記録と最新の記録を町丁目単位で記録した。

例) 初記録年月日(町丁目); 最新記録年月日(町丁目)

町目は町名の後に数字で示した。例) 駒場1丁目⇒駒場1

公園など観察場所の明確な地名があるものはその名称を町丁目名のあとに記載した。

観察日の詳細記録がない場合は「-」で示した。例) 1972/6/-

科名	種名	目黒区の記録 観察年						
		~60 年代以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年代	20 年代
イシガメ科	1 ニホンイシガメ 国NT 都CR <i>Mauremys japonica</i>					○	○	○
2023/08/27(駒場2(駒場野公園))								

表1. 保護上重要な種

	カテゴリー名	略称	基本概念(抜粋:詳細は原典を参照してください)※
国	絶滅	EX	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
	野生絶滅	EW	飼育・栽培下あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ 存続している種
	絶滅危惧Ⅰ類	CR+EN	絶滅の危機に瀕している種
	絶滅危惧ⅠA類	CR	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
	絶滅危惧ⅠB類	EN	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
	絶滅危惧Ⅱ類	VU	絶滅の危険が増大している種
	準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性があるもの
	情報不足	DD	評価するだけの情報が不足している種
	絶滅のおそれのある 地域個体群	LP	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
	絶滅	EX	当該地域において、過去に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下を含めすでに絶滅したと考えられるもの
東京都 区 部	野生絶滅	EW	当該地域において、過去に生息していたことが確認されており、飼育・栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられるもの
	絶滅危惧Ⅰ類	CR+EN	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの
	絶滅危惧ⅠA類	CR	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
	絶滅危惧ⅠB類	EN	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
	絶滅危惧Ⅱ類	VU	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
	準絶滅危惧	NT	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの
	情報不足	DD	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性を有しているが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていないもの
	留意種	※	現時点では準絶滅危惧のレベルではないが、相対的に数が少ない種であり、容易に個体数が減少することがあり得るため、その動向に留意する必要があるもの
	非分布	非	生態的、地史的な理由から、もともと当該地域には分布しないと考えられるもの。

※「環境省レッドリスト2020(2020:環境省)」及び「東京都レッドリスト(本土部) 2020年版(2020:東京都環境局)」による

両生類	科 名	種 名	目黒区の記録 観察年						
			～60 年代以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年代	20 年代
	イモリ科	1 アカハライモリ※1 国NT 都CR <i>Cynops pyrrhogaster</i>					○		
		2000/05/14(中目黒1(目黒川))							
	ヒキガエル科	2 アズマヒキガエル※2 都VU <i>Bufo formosus</i>	○	○	○	○	○	○	○
		1934/-/(八雲3);2023/08/26(緑が丘1)							
	アマガエル科	3 ニホンアマガエル 都EN <i>Dryophytes japonicus</i>	○	○	○	○	○	○	○
		1934/-/(碑文谷1(立会川));2023/06/18(駒場2(駒場野公園))							
	アカガエル科	4 ウシガエル ※特外 ※外重点 <i>Lithobates catesbeianus</i>	○	○	○	○	○	○	○
		1942/-/(碑文谷6(碑文谷公園));2023/06/25(駒場3(東京大学駒場1キャンパス))							
		5 ツチガエル※3 都CR <i>Glandirana rugosa</i>					○		
		2003/08/24(柿の木坂2)							
		6 トウキョウダルマガエル※3 国NT 都CR <i>Pelophylax porosus porosus</i>					○		
		2003/08/13(柿の木坂2)							
		7 ニホンアカガエル※3 都EN <i>Rana japonica</i>	○			○	○		○
		1934/-/(碑文谷1(立会川));2021/04/29(自由が丘3)							
	アマガエル科	8 ヤマアカガエル※4 都非 <i>Rana ornativentris</i>					○	○	
		2000/-/(青葉台2(西郷山公園));2013/04/06(中根2(中根公園))							
		9 シュレーゲルアオガエル※3 都CR <i>Zhangixalus schlegelii</i>				○			○
		1998/06/27(碑文谷1);2022/09/04(三田2)							

※1 東京23区では2000年以降に正式な確認記録のない種のため、飼育されていた個体が野外で記録された可能性がある。(写真により、本種であることが確認された。)

※2 一部は、西日本に生息するニホンヒキガエルと交雑しているとされている。

※3 東京23区ではごく限られた地域でしか正式な確認記録のない種のため、飼育されていた個体が野外で記録されたか、種名を誤って記録した可能性がある。

※4 東京23区には分布しない種のため、飼育されていた個体が野外で記録されたか、種名を誤って記録した可能性がある。

爬虫類	科 名	種 名	目黒区の記録 観察年						
			～60 年代以前	70 年代	80 年代	90 年代	00 年代	10 年代	20 年代
	イシガメ科	1 ニホンイシガメ 国NT 都CR※1 <i>Mauremys japonica</i>					○	○	○
		2007/11/15(中目黒1(目黒川));2023/08/27(駒場2(駒場野公園))							
		2 クサガメ <i>Mauremys reevesii</i>			○	○	○	○	○
		1982/6/10(碑文谷6(碑文谷公園));2023/05/21(駒場2(駒場野公園))							
		3 ハナガメ※2 ※特外 ※外その他定 <i>Mauremys sinensis</i>					○		○
		2009/04/15(中目黒1(目黒川));2021/04/13(中目黒1(目黒川))							
	ヌマガメ科	4 ミシシippアカミガメ ※特外(条件付) <i>Trachemys scripta elegans</i>				○	○	○	○
		1994/03/04(中目黒1(目黒川));2023/12/23(中目黒1(目黒川))							
		5 ニホンスッポン 国DD 都CR+EN <i>Pelodiscus japonicus</i>			○	○	○	○	○
		1982/09/27(中目黒2(防衛省技術研究所));2023/10/15(中目黒1(目黒川))							
	カミツキガメ科	6 カミツキガメ ※特外 ※外緊急 <i>Chelydra serpentina</i>				○	○		
		1991/07/15(碑文谷6(碑文谷公園));2009/04/27(中目黒1(目黒川))							
	ドロガメ科	7 カブトニオイガメ※3 <i>Sternotherus carinatus</i>						○	
		2016/10/28(碑文谷6(碑文谷公園))							
	ヤモリ科	8 ニホンヤモリ 都VU <i>Gekko japonicus</i>	○	○	○	○	○	○	○
		1934/-/(八雲3);2023/08/24(大岡山1)							
	イグアナ科	9 グリーンイグアナ※4 ※外重点 <i>Iguana iguana</i>				○			
		1998/04/-/(碑文谷6(碑文谷公園))							
	トカゲ科	10 ヒガシニホントカゲ 都CR+EN <i>Plestiodon finitimus</i>			○	○	○	○	○
		1982/04/07(下目黒5(東京都立林試の森公園));2023/11/02(駒場2(駒場野公園))							
	カナヘビ科	11 ニホンカナヘビ 都CR+EN <i>Takydromus tachydromoides</i>		○	○	○	○	○	○
		1976/10/21(大岡山2(東京工業大学));2023/05/21(駒場2(駒場野公園))							
	ナミヘビ科	12 アオダイショウ 都NT <i>Elaphe climacophora</i>	○	○	○	○	○	○	○
		1943/-/(下目黒5(東京都立林試の森公園));2023/10/01(駒場4)							
		13 シマヘビ 都CR <i>Elaphe quadrivirgata</i>	○	○				○	○
		1937/-/(下目黒);2021/06/09(駒場2(駒場野公園))							
		14 ジムグリ※5 都CR <i>Euprepiophis conspicillatus</i>							○
		2022/06/02(下目黒5(東京都立林試の森公園))							
		15 ヒバカリ 都VU <i>Hebius vibakari</i>					○	○	○
		2009/06/10(駒場2(駒場野公園));2023/08/13(駒場3(東京大学駒場1キャンパス))							

※1 東京23区ではごく限られた地域でしか正式な確認記録のない種のため、飼育されていた個体が野外で記録されたか、種名を誤って記録した可能性がある。

※2 日本国内には定着していない種のため、飼育されていた個体が野外で記録されたか、種名を誤って記録した可能性がある。なお、種名は「生態系被害防止外来種リスト」に従った。

※3 日本国内には定着していない種のため、飼育されていた個体が野外で記録されたか、種名を誤って記録した可能性がある。(専門家の調査により、本種であることが確認された。)

なお、学名は「THE REPTILE DATABASE」(<http://www.reptile-database.org/>) (2024年2月15日)に従った。

※4 石垣島(先島諸島)に定着している可能性が高いが、日本国内には定着していない種のため、飼育されていた個体が野外で記録されたか、種名を誤って記録した可能性がある。

※5 東京23区には分布しない種のため、飼育されていた個体が野外で記録されたか、種名を誤って記録した可能性がある。

両生類・爬虫類が見られるのはどんな場所？（解析結果）

これまで見てきた両生類・爬虫類について、1931年から2023年末までの24種3,659件※1のデータを用いて「確認種数が多い場所はどこか」「多く確認されている場所の環境※2はどのようなものか」という視点で解析を行いました。

【在来種の確認種数】

特に両生類の確認種数が多かったのは、中目黒1丁目（4種）、中目黒2丁目（4種）、碑文谷1丁目（4種）、爬虫類の確認種数が多かったのは、駒場2丁目（8種）、中目黒1丁目（7種）、下目黒5丁目（7種）でした。

町丁目ごとにみると、自然的土地利用（緑被面積＋水面面積＋裸地面積の割合）が高いほど、確認種数が多い傾向がみられました（図1）。水辺を中心とした自然環境が豊かな地域に両生類・爬虫類が多く生息していると考えられます。

※1：確認地点の記録が町丁目まで残っているもののみを使用。 ※2：環境条件としてみどりの実態調査（目黒区：2015）を使用。

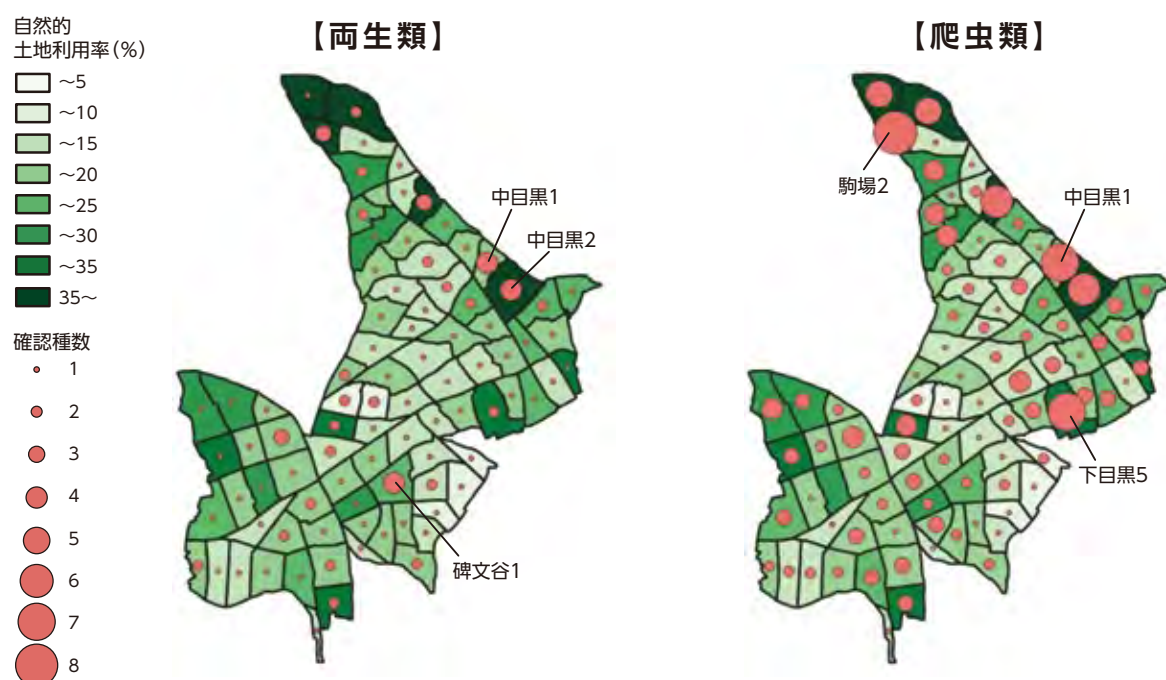


図1. 町丁目別の自然的土地利用と両生類・爬虫類（在来種）の確認種数

【外来種の確認種数】

特に確認種数が多かったのは、碑文谷6丁目（6種）、駒場2丁目（4種）、中目黒1丁目（4種）でした（図2）。

これらの地域には、いずれも水辺（碑文谷公園の弁天池、駒場野公園の大池、目黒川）があり、クサガメ、ミシシippアカミミガメ、カミツキガメの3種が確認されるなど、確認種数が多くなっていました。

このような外来種は、もともと日本に生息していた在来種にとって、捕食や餌の取り合い等を通じて影響を及ぼす可能性があり、問題になっています。

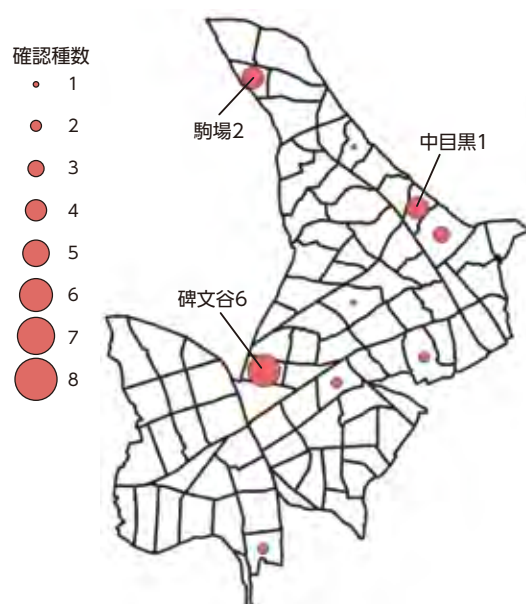


図2. 両生類・爬虫類（外来種）の確認種数

両生類・爬虫類が見られるのはこんな場所！

両生類

水辺を中心とした自然環境が豊かなところ

爬虫類

樹林地など緑地が多く自然環境が豊かなところ

●参考資料等

「小学館の図鑑NEO 両生類・はちゅう類」(2017:松井正文、疋田 努、太田英利)

「決定版 日本の両生爬虫類」(2002:内山りゅう、前田憲男、沼田研児、関慎太郎)

「身近な両生類・はちゅう類観察ガイド」(2008:関慎太郎)

「ときめくカエル図鑑」(2013:高山ビッキ、松橋利光)

「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和5年度生物リスト(国土交通省 水管理・国土保安局 閲覧日:2024年2月1日)

<https://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/mizukoku-web/system/seibutsuListfile.htm>

●目黒区の資料

「目黒区みどりの基本計画」(2016:目黒区)

「目黒区のみどりーみどりの実態調査報告書一」(2015:目黒区)

「目黒区生物多様性地域戦略ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画」(2014:目黒区)

「めぐろのいきもの80選」(2014:目黒区)

「みどりの散歩道コースガイド改訂版」(2017:目黒区)

「目黒区いきもの住民台帳 目黒区の野鳥」(2015:目黒区)

「目黒区いきもの住民台帳 目黒区の蝶と蛾」(2016:目黒区)

「目黒区いきもの住民台帳 土をめぐる生物」(2018:目黒区)

「目黒区いきもの住民台帳 目黒区の蜘蛛」(2019:目黒区)

「目黒区いきもの住民台帳 目黒区の甲虫」(2020:目黒区)

「目黒区いきもの住民台帳 暫定版リスト」(2009:目黒区)

「目黒区いきもの住民台帳 目黒区の水辺のいきもの」(2021:目黒区)

「目黒区いきもの住民台帳 目黒区のハチ」(2022:目黒区)

「目黒区いきもの住民台帳 目黒区の野草」(2023:目黒区)

●目黒区の生物多様性とみどりのまちづくりについて

(野鳥のすめるまちづくり計画・いきもの住民台帳・みどりの実態調査・みどりの基本計画など)

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ikimono/tayosei.html>

●自然通信員について

(事業の紹介、ニュースレターのダウンロードなど)

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/shizen/ikimono/johokyoku/download.html>

●監修執筆 大淵 希郷

●イラスト 水谷 高英

(区民による身近な生物調査環境学習資料)

●写真 (株)自然教育研究センター

自然通信員のみなさん ほか

●カラー版 ダウンロード

(ホームページでは観察記録の詳細も公開予定です)

http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/tokei/chosa_hokoku/ikimono_daicho.html

めぐろグリーンデータブック 2023 目黒区いきもの住民台帳 -身近に暮らすみどりのなかまたち-

めぐるく りょうせいらい はちゅうらい
目黒区の両生類・爬虫類 List of amphibians and reptiles of Meguro City

発行 初版 2024 (令和 6) 年 3 月 31 日 目黒区◎

〒153-8573 目黒区上目黒 2-19-15

目黒区都市整備部みどり土木政策課みどりの係《めぐろいきもの气象台》

電話 : 03-5722-9355 (直通) FAX : 03-3792-2112 E-mail : sizen@city.meguro.tokyo.jp

印刷 有限会社ジンキッズ

制作・編集 アオイ環境株式会社

(本冊子は区立図書館で閲覧できます)



目黒区緑化都市宣言

みどりのまちをつくるちかい

思い出してほしい
わたしたちがみどりの中に 生まれ
育ったことを
青い空 木々のこもれ日 季節のささやき
よびかけてる 誰もみな みどりの仲間だと

忘れないでほしい
木も草も 虫も鳥たちもともに暮らす
大切な家族
だから今 かけがえのない 母なる地球を
みんなで分けあっている

さあ 始めよう
ひと粒の小さな種をまくことから
大地に根をはり
すくすく枝をのばし
鳥たちがうたい
人びとがやすらぐ
一本の木の種

わたしたちの手で わたしたちの心に
こどもたちに伝える
森をつくろう

1990年10月28日



国連生物多様性の10年-自然と共生する社会を目指して
目黒区は生物多様性地域戦略を推進しています



目黒区生物多様性地域戦略
ささえあう生命の輪
野鳥のすめるまちづくり計画

自然情報・自然通信員募集

庭や公園、校庭などで観察した1つ1つの観察記録がみどりを守り、回復していく貴重な資料になります。見つけた日時、見つけた場所(公園名、町名番地等)、見つけたいきものの名前、どうしていた(いきものの様子)、いきものの写真(あれば)などを以下のいずれかの方法でお送りください。自然通信員としてご登録いただいた方には、年数回、調査結果などをまとめたニュースレターを郵送いたします(無料)。

申し込みの際は、右の①～④の内容を記載してください。①住所 ②氏名 ③連絡先 ④「自然通信員に登録希望」と記載

メール	はがき	FAX	電話
以下のアドレスに送信してください。	以下の宛て先に郵送してください。	以下の番号へ送信してください。	お電話でも受け付けています。
sizen@city.meguro.tokyo.jp	〒153-8573(住所不要) 目黒区役所都市整備部 みどり土木政策課みどりの係	FAX:03-3792-2112 みどり土木政策課みどりの係	TEL: 03-5722-9359 みどり土木政策課みどりの係

こちらから投稿も
可能です!



投稿フォーム